

慣性センサ、スマートフォンアプリを用いた パフォーマンス計測とその実践

講師：山下 大地

国立スポーツ科学センター 研究員【NSCA:CSCS】

1985 年生まれ。兵庫県出身。2014 年京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。博士（人間・環境学）。国立スポーツ科学センターでは格闘技系選手の体力測定や育成年代の体力変化について研究を行い、またジャンプ高向上のためのバイオメカニクス研究、トレーニング研究を行っている。



慣性センサ、リニアポジショントランスデューサーによって Velocity Based Training (VBT) という新たな概念が登場した。速度やパワーが即時に表示され、様々な方法でトレーニングに応用できるようになっているが、それぞれの指標が何を意味しているのか、そしてそもそもその機器の精度はどうなのか等、導入前に知っておかなければならないことは多い。さらに近年、スマートフォンアプリでもジャンプ高やバーベル挙上速度を計測することができる。この方法は非常に安価であり、将来多くのアプリが登場するだろう。そこで今回は、様々な計測方法について詳細に知るとともに、実践を通して測定値の理解を深めることを狙いとする。

受付 9:30～

2020年3月1日(日) 10:00 - 12:30

会場：東京リゾート＆スポーツ専門学校

<https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/accessmap/>

参加費：会員5000円、一般 6000円、学生 5000円 定員：20名

※ 動きやすい服装、上履きをご持参ください